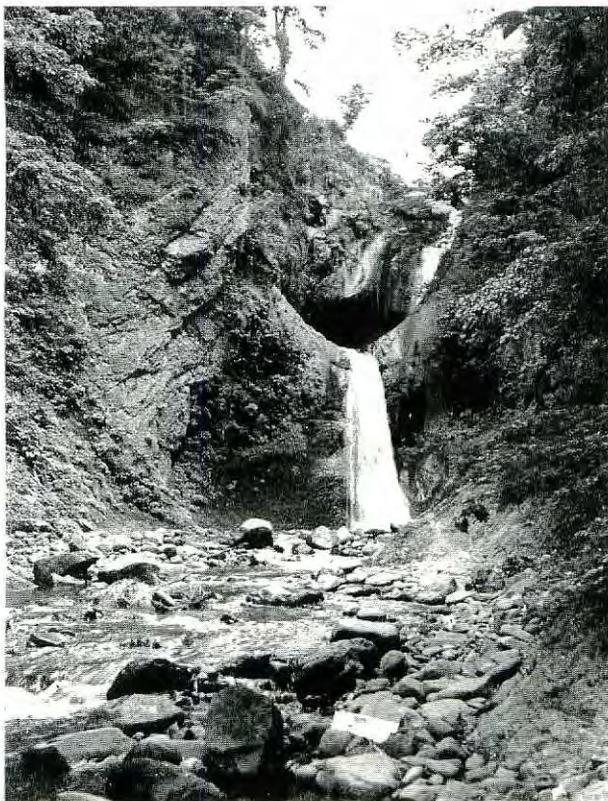


北海道議會時報

特集 第2回臨時道議會

第14卷 第9号

昭和37年9月



北海道議會事務局

第 9 号 目 次

議 会 の 動 き

第 2 回臨時道議会	1
本 会 議	1
決 議・意 見 書	4
各 派 交 渉 会	5
常 任 委 員 会	6
特 別 委 員 会	12
総合開発調査特別委員会	
請 願・陳 情	1

会 合

全国都道府県議会議長会	13
産災地振興全国道県議会協議会	13
雪害対策促進関係道県議会議長会	13
雪寒地帯対策協議会	13
全国酪農経営安定対策連絡協議会	13
10都道府県議会議長会	13
都道府県議会議員互助会	13
10都道府県議会事務協議会	14
北海道東北6県事務連絡協議会	14

資 料

第 2 回定例道議会の議決を経た条例の公布調べ	14
衆参正副議長・常任委員長一覧	15

8 月 の メ モ

表紙写真

— 星 置 の 滝 —

北海道議会議務局撮影

議会の動き

本 会 議

第2回臨時道議会

- ① 8月4日未明本道を襲った9号台風及び8月9日襲来の10号台風による災害対策のため開かれた第2回臨時道議会は8月11日招集され、同日開会、会期を1日間に決定の後、知事より災害状況について報告があり、このあと8月8日天皇、皇后両陛下から御救恤金を下賜されたことに対する御礼言上を決議、ついで委員35名よりなる水害対策特別委員会を設置して閉会した。
- ② 提出案件の処理状況は次のとおり。

提出者	提出件数	議決の状況		計
		原案	可決	
議員	2		2	2
合計	2		2	2

○8月11日 午後2時40分開議、徳中議長、第2回定例道議会の開会を宣し、引き続き開議、日程第1会議録署名議員の指定、諸般の報告の後、日程第2会期決定の件を議題に供し、会期は8月11日1日間に決定、次に日程第39号及び10号台風災害の件を議題に供し、知事より災害報告を聴取、議事進行の都合によりあらかじめ、会議時間を延長して、午後2時50分休憩、午後5時2分再開、議長より、今次災害に対し天皇、皇后両陛下から御救恤金の下賜に対し御礼言上の決議を行ないたい旨を述べ、案文を朗読の後、全員起立でこれを可決、次に日程に追加して決議案第1号（水害対策特別委員会設置に関する決議）を議題に供し、本件は提出者の説明並びに委員会付託を省略して、異議なく原案のとおり可決、議長指名により次のとおり水害対策特別委員を選任した。

- | | |
|-----------|-----------|
| 清水 健次（社） | 原田伊層八（自民） |
| 山下 策雄（社） | 西島 順三（自民） |
| 石畑 久成（自民） | 山元 ミヨ（自民） |
| 奥野 善造（自民） | 伊藤 作一（自民） |
| 高橋 賢一（自民） | 杉本 栄一（自民） |
| 奈良 敬藏（自民） | 堀田 毅（自民） |

第2回臨時道議会に議員から提出のあつた案件

決議案

提出月日	番号	件名	議事経過
8.11	1	水害対策特別委員会設置に関する決議	8.11 原案可決

意見案

提出月日	番号	件名	議事経過
8.11	1	北海道における9号、10号台風等による豪雨災害対策に関する要望意見書	8.11 原案可決

請 願・陳 情

第2回臨時道議会において各常任委員会及び特別委員会に付託された請願、陳情並びに審査の結果はつぎのとおり。

請 願

文書番号	件名	請願者	付託審査の結果
632	室蘭工業大学に産業機械工学科新設の件	室蘭工業大学 拡充期成会会長 熊谷 綾雄	総務 継続審査
633	9号台風による水害水稲に対する農業空中散布防除実施に対し道費助成の件	北海道農業共済組合連合会会長 理事 宮北三七郎	水害対策特別 同

陳 情

文書番号	件名	陳情者	付託審査の結果
1062	空知管内における9号台風災害対策の件	空知管内農業共済組合長協議会 会長 理事 谷口 良平	水害対策特別 継続審査
1063	当別町にける9号台風災害対策の件	当別町長 近藤 辰雄	同 同

池田 金助 (自民)	大沢重太郎 (自民)
山田 勳 (社)	大久保和男 (自民)
菅田 邦夫 (社)	田中 巖 (自民)
村本 政信 (社)	福島新太郎 (自民)
井口 ゑみ (社)	池田 信孝 (自民)
橋本 正誉 (社)	笠井 幸衛 (社)
渡部 勇雄 (社)	井野 正揮 (社)
川村 清一 (社)	遠藤 英吉 (社)
中野 与作 (社)	堀野 豊夫 (民社)
天谷 平信 (自民)	時田政次郎 (社)
樋口 哲男 (自民)	松平 武一 (自民)
森 春一 (自民)	

知事説明要旨

本日、ここに北海道議会臨時会が開会せられるにあたりまして、去る8月4日未明本道を襲った9号台風及び8月9日襲撃の10号台風による被害の状況と、これに対してとりました道の応急措置等につきましてその概要を御報告申し上げます。

7月下旬以来北日本附近に停滞していた梅雨前線の北上によつて8月2日夜半から全道的に強い雨が降り続きましたが、台風の近接に伴なつて雨量はさらに増大し特に後志、石狩、空知及び上川南部は集中的な豪雨となりその最高雨量は後志地方においては358耗を記録するに至りました。

このため各地の大小河川が増水氾濫し、昨年7月の集中豪雨災害を上回る災害の発生をみるに至つた次第であり、さらに8月9日には10号台風による降雨が道南一帯及び道央の一部にありましたが、のち温帯性低気圧に変じたためその勢力が弱まり幸いに予想されたほどの大きな被害を生じなかつた次第であります。

8月10日現在までに判明いたしました9号台風の被害の概況は、お手もとに配付いたしました資料のとおりであります。

その被災地域は 24市161町村
に及び、この災害によつて
死者及び行方不明 31名
負傷者 37名 を生じ
また住家及び非住家の被害は
全壊流失 494戸
半壊浸水 66,124戸にのほり、
農業関係の被害におきましては、
農地の流失埋没 約 1,048ヘクタール
農地の冠水等 約15万5,256ヘクタール
農業用施設等 357カ所
土木関係被害におきましては
堤防欠壊 2,292カ所
道路欠壊 709カ所
橋梁の破損流失 544カ所
また鉄道関係被害におきましては、
不通箇所 261カ所
に及んでおります。

なを10号台風による被害といたしましては
死者 2名
負傷者 9名

のほか、家屋、道路、その他の被害については、その詳細について目下調査中であります。

今次の災害により罹災されたかたがたに対しましては、まことに、御同情に堪えないところであります。

今回の災害にあたり

次に日程第4請願第633号及び陳情第1062号ないし第1072号を議題に供し、本件はこれを水害対策特別委員会に付託し、議事進行の都合により午後5時7分休憩、午後7時44分再開、諸般の報告の後、日程に追加して、意見案第1号を議題に供し、本件は提出者の説明並びに委員会付託を省略して異議なく原案のとおり可決、次に閉会中請願、陳情継続審査の件を議題に供し、本件は委員長より申し出のとおり閉会中継続審査とすることに決定、徳中議長より閉会の挨拶があつて、午後7時48分閉会。

1064	今金町における7.8月豪雨災害対策の件	今金町長 安部 義雄	同	同
1065	北海道台風9号、10号及び豪雨による水害罹災農家に対する緊急対策実施要望の件	北海道農村連盟委員長 石川 清一	同	同
1066	日高支庁管内町村における9号台風災害対策の件	日高町村会会長 長岡 隆一	同	同
1067	豊浦町における7月集中豪雨災害対策の件	豊浦町長 正源 次作	同	同
1068	後志支庁管内町村及び小樽市における9号台風災害復旧の件	後志支庁管内町村会会長 小林栄三郎	同	同
1069	芦別市における9号台風災害復旧対策の件	芦別市長 側見 清一	同	同
1070	8月集中豪雨による農業被害対策の件	北海道農業協同組合中央会会長 高橋雄之助	同	同
1071	空知管内における9号台風災害対策の件	空知支庁管内町村会会長 島田 薫	同	同
1072	平取町における9号台風災害対策の件	平取町長 庄野 巖	同	同

かしこくも天皇、皇后両陛下より 去る8月8日御下賜金として金一封を拜受いたしましたことは、まことに感激に堪えないところであります。

また災害義捐金品募集北海道地方委員会においては8月6日から義捐金品の募集を開始しましたほか、日赤及びキリスト教奉仕団体等による援助物資が現地に急送せられる等道内外よりあたたかい御同情がよせられておりますことに対しこの機会にあらためて感謝の意を表する次第であります。

道におきましては台風の近接に伴い気象官署と密接な連絡を保ちつつ警戒地域に所要の措置を講ずるよう指示いたしてまいつたのでありますが、去る4日木庁及び石狩、松山、後志、空知、上川、日高、十勝の各支庁にそれぞれ災害対策本部を設置するとともに北海道開発局、自衛隊北部方面総監部、札幌管区気象台等、政府関係諸機関をもつて災害対策協議会を設け、その状況把握に努め、罹災者の救護と被害の拡大防止を中心として各般の緊急措置をとつてまいつた次第であります。

即ち、被害の著しい各市町村には直ちに道及び支庁より職員を現地に派遣し被害の状況把握と応急対策の現地指導にあたらせるとともに特に被害激甚の市26カ町村に対しては災害救助法を適用し罹災者の収容、炊出し等の救助措置を行つたのであります。

また河川の急激な増水及び道路橋梁等の欠壊によつて石狩川流域及び後志地方並びに日高、胆振、上川の山間部等の各地に孤立地帯を生じたので自衛隊及び海上保安本部の出動を得て罹災者の救出、緊急食糧医薬品の確保に万全を期するとともに道路橋梁の急速な復旧に鋭意努力中であります。

次に罹災地の保健衛生につきましては、水道施設に被害を受け飲料水に窮している砂川市ほか6市町村に対し、直ちに道有ろ水器及び自衛隊の給水施設を現地に輸送して応急給水の確保を図るとともに保健所、自衛隊、日赤等による医療班及び防疫班を編成して被災地の医療防疫に遺憾なきを期しつつある次第であります。

また、二百数十戸の流失、全壊家屋を生じた赤平市を始め災害地の住宅対策につきましては、とりあえず災害救助法による応急仮設住宅を早急に建設する等所要の措置を講じてまいりたいと考えております。

次に被災農家に対する応急措置といたしましては、被害発生後直ちに現地駐在の改良普及員等を通じてその対策指導に努めるほか、農作物病害虫の発生を未然に防止するため一般防除の指導を行なうとともに農薬の空中散布等の斡旋指導を行なつております。

また家畜保健衛生所を中心として被害地における家畜の疾病の予防措置を講ずるとともに、応急的に家畜飼料の不足を補うため、他地域からのあつせんに努力している次第であります。

また今次災害に際しましては自衛隊、海上保安本部、日赤並びに地元消防団、水防団等におきましてもそれぞれ罹災者の救護、給水、防疫、必需品並びに救護物資の給与及び輸送にあたる等、積極的な協力をいただいているところであります、これらの機関及び団体に対し衷心より感謝の意を表する次第であります。

以上、今次豪雨災害の被害の状況及びこれに対する応急措置の概要を御報告申し上げた次第でございます。

最後に罹災されましたかたがたの再起を心から希念いたしますとともに今後災害の復旧と諸般の対策を早急にすめてまいりたいと存じますので、各位の格別な御協力を賜りますようお願い申し上げます。

御礼言上決議

今次、9号台風災害に対し、御下賜金を拜受したことは、感激にたえません。

道民は、一斉協力して、被害地域の救済に努めますとともに、すみやかなる復興に向つて努力を尽しております。

ここに、北海道議会の決議をもつて、つつしんで御礼を申し上げます。

右、天皇、皇后両陛下に言上を請います。

北海道議会議長 徳 中 祐 満

宮内庁長官 宇佐美 毅 殿

決議・意見書

決議案第1号

(37. 8. 11原案可決)

水害対策特別委員会設置に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和37年8月11日

提出者 北海道議会議員 岡嶋保二郎
 同 佐野法幸
 同 大石利雄
 同 岡田義雄
 同 深山和朗
 同 池田信孝

北海道議会議長 徳中祐満殿

決議案第1号

水害対策特別委員会設置に関する決議

- 1 本議会に35人の委員をもつて構成する水害対策特別委員会を設置する。
- 2 本委員会は
 - (1) 今次北海道における9号及び10号台風災害並びに7月集中豪雨災害等の復旧対策を樹立し、その推進をはかる。
 - (2) 常任委員会所管の前号関係事務について、連絡調整を行なう。
- 3 本委員会は、閉会中も調査を行なうことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。
- 4 本委員会に要する経費は、昭和37年度中 300万円以内とする。

意見案第1号

(37. 8. 11原案可決)

北海道における9号、10号台風等による 豪雨災害対策に関する要望意見書

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和37年8月11日

提出者 北海道議会議員 松平武一
 同 笠井幸衛
 同 清水健次
 同 山下策雄
 同 石畑久成
 同 奥野善造
 同 高橋賢一
 同 奈良敬藏
 同 池田金助
 同 山田勳
 同 菅田邦夫

同 村本政信
 同 井口弘み
 同 橋本正誉
 同 渡部勇雄
 同 川村清一
 同 中野与作
 同 天谷平信
 同 樋口哲男
 同 森春一
 同 原田伊曾八
 同 西島順三
 同 山元ミヨ
 同 伊藤作一
 同 杉本栄一
 同 堀田毅
 同 大沢重太郎
 同 大久保和男
 同 田中巖
 同 福島新太郎
 同 池田信孝
 同 井野正揮
 同 遠藤英吉
 同 堀野豊夫
 同 時田政次郎

北海道議会議長 徳中祐満殿

意見案第1号

北海道における9号、10号台風等による 豪雨災害対策に関する要望意見書

去る8月3日夜半から4日にかけて、北海道を襲った9号台風は、まれに見る豪雨をもたらし、各種河川のはんらん、堤防、道路、鉄路等の欠陥に加え、田畑の冠水、人家の損壊等昨年の集中豪雨災害に倍する未曾有の大災害となり、更に連続して襲来した10号台風は一層その被害を増大せしめ、道民生活に重大な打撃を与えている現状にかんがみ、これが罹災者の救済並びに災害復旧のため、強力な総合的対策を講ぜられるよう要望する。

(理由)

今次北海道を襲った9号及び10号台風は、各地にまれにみる集中的な豪雨をもたらし24市161町村の広汎な地域にわたり甚大な被害を与えたが、この災害は、北海道稀有の大災害と称された昨年7月の集中豪雨災害に倍する未曾有の大災害で、その被害額は8月10日現在、既に300億円を超え、更に増大しつつある状況であつて、昨年に連続して大打撃を受けた被災地並びに罹災者の惨状はまことに深刻なものがある。

道及び関係市町村においては、いち早く特に被害激甚の35市町村に対し災害救助法を発動し、更に道警察本部並びに自衛隊と緊密な連携の下に、海上保安部、開発局、地元

消防団及び水防団等の献身的な協力を得て、罹災者の救出及び収容に努める一方、食糧及び衣料品の配付並びに給水、防疫等の応急措置を講ずるとともに災害個所の復旧に全力を挙げているところであるが、巨大な被害額に加え、貧弱な道、市町村の財政事情のもとでは到底その万全を期せられない実情である。

よつて、国におかれては、今次大水害の復旧に対し、昨年と同様、復旧工事費の高率国庫補助、金融、財政援助措置等特別な総合対策を急速に実施されるよう強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 徳 中 祐 満

内閣総理大臣
大 蔵 大 臣
農 林 大 臣
建 設 大 臣
厚 生 大 臣
運 輸 大 臣
通 商 産 業 大 臣
文 部 大 臣
勞 働 大 臣
自 治 大 臣
北海道開発庁長官
内閣官房長官
衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長

各通(国会には請願書とし)て提出する。

各派交渉会

○8月11日 午後1時56分、各派交渉室において開議、午後7時36分散会。

- ① 第2回臨時道議会の運営について協議、会期は8月11日1日間とすることに決定。
- ② 本日の議事は、日程第1会議録署名議員の指定、日程第2は会期決定の件、日程第3は、9号及び10号台風災害について知事より報告を聴取して、一旦休憩、再開冒頭 天皇、皇后両陛下からの御救恤金に対し御礼言上の決議を行なつた後、日程に追加して決議案第1号(水害対策特別委員会設置に関する決議)を議題に供し、提出者の説明並びに委員会付託を省略して可決すること、水害対策特別委員会は35名、自民20、社会14、民社1の割振りで構成、7月21日発生の豊浦町ほか4町村の集中豪雨災害をも含めて対策を推進することとし、調査経費は300万円以内とすることに決定、日程第4は災害関係請願、陳情を水害対策特別委員会に付託すること、なお緊急を要する室蘭工業大学に機械工学科設置の請願を総務委員会に付託して休憩、再開の後意見案第1号(北海道における9号、10号台風等による豪雨災害対策に関する要望意見書)を議題に供し、本件は提出者の説明並びに委員会付託を省略して可決、このあと付託請願、陳情の閉会中継続審査を決定、以上の順序にて議事を進めることに決定。
- ③ 自民党各派交渉員に池田(信)古沢高橋各議員を了承。

常任委員会

総務委員会

○8月10日 午後3時55分、第1委員室において開議、午後4時20分散会、委員長 杉本栄一(自民)

一般議事

総務部長より、9号台風災害被害状況について説明を聴取した。

○8月21日 午後1時15分、第1委員室において開議、午後3時48分散会、委員長 杉本栄一(自民)

請願、陳情の審査

請願

- 第608号 日高村に町制施行の件 (採択)
- 第627号 土幌村に町制施行の件 (採択)
- 第632号 室蘭工業大学に産業機械工業科新設の件 (採択)

一般議事

① 阿部委員(自民)より、北方領土問題解決促進に関し、林副委員長(自民)より、室蘭工業大学に産業機械工業科新設に関する中央折衝の経過について

井口委員(社)より、土幌、日高両村の町制施行に関する現地調査の経過についてそれぞれ報告があり、

渡辺委員(社)より、室蘭工大の問題についてさらに対策をたてる必要がないかどうか委員長の見解、

佐野委員(社)より、文部省に伺いさらに手を打つ必要はないか、

について意見があり、委員長より応答があつて異議なく報告を了承。

② 佐野委員(社)より、警察署庁舎改築に関する請願、陳情がでているが道警が年次計画をたてないと陳情合戦になるがどのように指導をしているのか

について意見があり、委員長より応答、総務部長、道警本部会計課長より答弁。

③ 辺地整備対策問題のその後の進捗状況等について総務部長、地方課長より説明を聴取の後、

林副委員長(自民)より、辺地事業で国と道の貸付の条件は違うのか、国と同じ条件にしてやつてはどうか、道の場合は特別交付税で考えられないか、全国の資金枠はどの位か、

佐野委員(社)より、2億円の資金を国の歳入に入れ、国は3億5,000万円で作るという制度はどうか、電気供給施設については国と道とでどのような差があるか、辺地の生活水準の目標をどこにおくのか、貸付金

制度運用の如何によつてはまずい面もでてくるのではないか、

井口委員(社)より、辺地の中に市を入れることについては検討の要があるのではないか、

渡辺委員(社)より、施設を作る場合に全戸数が含まれるものでないとその事業計画は適確なものではない、計画の中からこぼれたものについてはどう措置する考えか、

等について質疑及び意見があり、総務部長、地方課長より答弁、委員長より本件に関する実態調査の時期等については委員長一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

④ 人事委員長より、国家公務員の給与勧告に伴う道職員の給与勧告を行なう考え方及び勧告時期等について説明を聴取の後、

井口委員(社)より、自主性のある勧告をすべきでないか、

橋本(清)委員(社)より、道人事委の勧告の目度はどうか、

佐野委員(社)より、道人事委の勧告時期はいつ頃が適当と考えるのか、当初予算の作業の始まる時期はいつか、12月1日の勧告は遅いということを認めるか、本年は10月下旬か、11月上旬までにはでるのか、勧告は人事院の考え方とおり勧告するのか、

渡辺委員(社)より、勧告は独自の判断でやつてもらいたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、人事委員長、総務部長より答弁。

⑤ 橋本(清)委員(社)より、道職員の選挙違反問題に関し、参議院選挙前に庁内に通達を出していたか、高級公務員の地位利用について事前の対策はとられていたのか

について質疑があり、総務部長より答弁。

⑥ 佐野委員(社)より、7月末の本基金庫の残高及び7月末出納検査の書類、旧北見農業試験場跡地処分後の状況、旧西校跡地処分後の状況及び発寒川堤防敷地内における家屋新築等に対する堤防敷地条例違反の具体的内容等について資料要求があり、総務部長より答弁。

⑦ 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめることについて諮り、異議なくそのことに決定。

厚生委員会

○8月11日 午後1時11分、第2委員室において開議、午後1時40分散会、委員長 原田伊曾八(自民)

一般議事

① 台風9、10号災害に対する応急措置状況等について

民生部長、衛生部長より説明を聴取の後、

中野委員(社)より、砂川保健所は昨年も集中豪雨により被害を蒙っているが今後の防疫に支障はないのかについて質疑があり、衛生部長より答弁。

- ② 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめることについて諮り、異議なくそのことに決定。

○8月31日 午後1時35分、第3委員室において開議、午後2時30分散会、委員長 原田伊曾八(自民)

一般議事

① 中野委員(社)より、7月21、22の2日間十勝岳爆発による被害状況調査、並びに7月23日より29日までの7日間網走、釧路、根室各支庁管内の厚生事情の調査経過等について報告があり、異議なく報告を了承。

② 民生部長より、養護施設柏葉荘の調査経過について説明を聴取の後、

中野委員(社)より、殴打、信書の開封事実が認められているので今後の処置方法については充分注意されたい、また児童に技術を与え社会に一日も早く復帰させるための施設の増設についてどのように考えているか、国から給食費の助成があるのになぜ就職児童の給料から寄付金をとるのか、道から助成する方法はないか、現地調査を行なわれたい、

塚田委員(社)より、就職児童の給料から寄付金を差引くことを今後も認めていくのか、これでは抜本的な改善にならないと思うがどうか、

山元副委員長(自民)より、道立職業訓練所に通っているものに対する手当等の支給は毎年共同募金からでているのか、職員の給料はどの位か、正式な監査はやっているのかどうか

等について質疑、意見及び要望があり、民生部長より答弁、ついで委員長より、本日の委員会散会后現地を調査することについて諮り、異議なくそのことに決定。

③ 委員長より、明9月1日午前10時より委員会を開会することについて諮り、異議なくそのことに決定。

商工労働委員会

○8月10日 午前11時33分、第3委員室において開議、午前11時47分散会、委員長 伊藤作一(自民)

一般議事

① 太田委員(社)より、産炭地振興道県議会協議会の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

② 榎委員(社)より、宗谷留萌支庁管内における商工労働事情調査の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

○8月28日 午前10時48分、第1委員室において開議、午前11時59分散会、委員長 伊藤作一(自民)

請願、陳情の審査

請願

第597号 総合エネルギー対策樹立要望の件 (保留)

第614号 油谷芦別炭鉱に対する機械等貸付及び融資斡旋の件 (保留)

陳情

第934号 伊達地帯に工業用水道建設実施の件 (保留)

第999号 旭川市神居開発地を電気施設補修対象地区に指定の件 (採択)

第1044号 美唄職業訓練所夕張分所の訓練科目の増設及び一般職業訓練所に昇格の件 (採択)

農務委員会

○8月11日 午後1時35分、第3委員室において開議、午後5時散会、委員長 天谷平信(自民)

一般議事

① 委員長より、前回の委員会において決定した馬鈴しよでん粉対策及びてん菜振興対策に関する中央折衝は今次災害対策等の推移をみて実施したいので日程等については委員長一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

② 久米委員(自民)より、十勝岳爆発に伴う災害状況及び農作物作況調査の経過について報告があり、異議なく報告を了承。ついで

③ 久米委員(自民)より、被災者のトムラウシ地区復帰の見通しはどうか、

菅田委員(社)より、現地は危険な状態になっているか、次回委員会までに衛生部等に対し適確な報告をするよう取り計らわれたい、

渡部委員(社)より、白金温泉では営業を再開しても差し支えないとのことであるがどうか、道は現地の情勢を適確に把握しているのかどうか、

笠井委員(社)より、今後爆発するおそれはないのか、亜硫酸ガスの問題はどうか

等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、農務部長より答弁、

④ 農務部長より、9号、10号台風による災害状況について説明を聴取の後、

菅田委員(社)より、7月集中豪雨による農業被害の最初に集計した数字と最終の被害額が相違しているのを慎重に調査されたい、ヘリコプターによる空中撒布

の場合1町歩当りどの位かかるのか、撒布の計画はできていないか、地元では地上撒布より経費がかかるのであまり希望していないのではないか、北村地区は申請をしているか、道はヘリコプターによる空中撒布をどのように指導しているか、ヘリコプターの代金は道が負担するのかどうか、これに対する部長の見解、

笠井委員(社)より、ヘリコプターのチャーター料は道で負担する考えがあるのかどうか、空中撒布の農薬代のみ平均に負担させる必要があると思うが部長の見解、

渡部委員(社)より、昨年の輸送費、撒布料、農薬の負担区分及び補助はどうか、9号台風の技術対策に関して農務部長名で文書が支庁、農協などに配布されているがその配布先及び十勝地方が入っていない理由及び気象台並びに衛生部の関係者の出席方取り計らわれない

こと等について質疑及び意見があり、農務部長、農業改良課長より答弁、委員長より応答。

⑤ 委員長より、次回委員会を明後13日午前10時より開会することについて諮り、異議なくそのことに決定。

⑥ 本日聴取した陳情は次のとおり。

(1) 昭和37年9号台風災害について

空知生産連会長

(2) 8月集中豪雨災害に対する復旧対策について

北農中央会理事

(3) 今次水害により浸冠水したる水稲に対する農薬の空中撒布防除経費の道費支出方について

農業共済連副会長

後2時45分散会、委員長 天谷平信(自民)

一般議事

① 農業改良課長補佐より、8月20日現在の農作物作況について説明を聴取の後、

荒委員(社)より、支庁から報告のするのはいつかについて質疑があり、農業改良課長補佐より答弁。

② 農務部長より、てん菜振興立法化対策協議会設立の経過等について説明を聴取の後、

菅田委員(社)より、8月21日に対策協議会の準備委員会開催以前に委員長に何か連絡があつたか、このような問題を委員長だけで処理してきたことについての委員長の見解はどうか、また、ビートの価格は決定したのかどうか、

渡部委員(社)より、協議会のメンバーに議会も入ってもらいたいと考えた理由及び各党の意見一致ということに対する見解、会則4条(組織)の中に北海道議会となつていることに対する見解、またこの協議会の名称を推進とすべきでなかつたか、政府ほどの程度の作業をしているのか、作業はどこでやっているのか、

笠井委員(社)より、協議会の経費はいくらか等について質疑、意見及び要望があり、農務部長より答弁。

③ 委員長より、本問題については明9月1日午前10時より委員会を開会し、審議することについて諮り、異議なくそのことに決定。

建設委員会

○8月13日 午後1時44分、第3委員室において開議、午後2時32分散会、委員長 天谷平信(自民)

一般議事

① 農務部長より、十勝岳爆発に伴う新得町トムラシ地区の対策問題について説明を聴取。

② 農務部長より、北海道地方競馬実施条例の一部改正について説明を聴取の後、

荒委員(社)より、第2回臨時道議会に提案しなかつた理由、本件は法改正に伴うものであるからと簡単に考え専決処分することは、議会軽視ではないか、

岡田委員(社)より、臨時会招集の場合案件を告示しなければならないが本件について委員長に事前に相談があつたか、

について質疑があり、委員長より応答、農務部長より答弁。

③ 委員長より、次回委員会の開会は委員長一任とするについて諮り、異議なくそのことに決定。

○8月31日 午後1時27分、第2委員室において開議、午

○8月4日 午前11時5分、第1委員室において開議、午後零時15分散会、委員長 黒松秀夫(自民)

一般議事

① 道内建設事情調査の経過について道南班は竹内委員(社)より道北班は熊谷委員(社)よりそれぞれ報告があり、異議なくこれを了承。

② 委員長より、台風9号災害状況について休憩して協議する旨を述べ、午前11時15分休憩、午後零時10分再開、休憩中協議の結果、道内災害状況調査については正副委員長及び自社両党の理事に一任することとした。つぎに、前回の委員会において決定した中央折衝の日程中第1班を8月5日から8月17日とすることとした。

③ 次回委員会開催は正副委員長及び自社両党の理事に一任することとした。

○8月17日 午後1時55分、第1委員室において開議、午後4時15分散会、委員長 黒松秀夫(自民)

一般議事

- ① 台風9号及び10号災害状況調査の経過について石狩、空知支庁管内は竹内委員(社)より、後志支庁管内は熊谷委員(社)よりそれぞれ報告があり、

大石委員(社)より、土木施設災害の工事施行に際し、請負業者に技術的な欠陥があつたのか、

千葉(軍)副委員長(自民)より、昨年工事したものが崩落している、工事設計も十分でなかつたが工事施行基準について検討すべきでないか、

津川委員(民社)より、既設の堤防で決壊しなかつたが水がのり越えたものがあるかこの点どう考えているか

等について質疑があり、土木部長より答弁。

- ② 土木部長より、台風9号及び10号災害状況について説明を聴取の後、

大石委員(社)より、ダム放水について昨年の水害以降北電とどのように折衝したか、

津川委員(民社)より、災害による原形復旧、道路工手不足等による道路管理状況、道路工手の待遇、国及びその他関係者との連携、ブルドーザーによる河川改修、河川保護についての指導、住宅対策等に対する見解、

竹内委員(社)より、石狩川放水路計画に関する知事談話について土木部に話があつたのか、赤平市豊里において住宅公庫の融資を受けるものは何割か、社宅建築について特別の方法はないか、

中西委員(自民)より、従来計画では扉門が小さすぎるが検討すべきでないか、赤平市における災害住宅として融資を受けるものはどれくらいか、

斎藤(正)委員(社)より、石狩川放水路の計画は実現困難な問題であり、治水計画を早急に促進することが先決ではないか

等について質疑、意見及び要望があり、委員長より応答、土木部長、建築部長より答弁。

- ③ 委員長より、中央折衝は正副委員長及び自社両党の理事に一任することについて諮り、異議なくそのことに決定。

のか

つについて質疑及び意見があり、農地開拓部長より答弁があて、異議なく報告を了承。

- ② 農地開拓部長より、十勝岳爆発に伴うトムラウシ地区のその後の状況について説明を聴取の後、

橋本(正)委員(社)より、保健所では現地に復帰してはだめだと指示しているのか、もしそうであれば現地にいる人は危険ではないか

について質疑があり、農地開拓部長より答弁。

- ③ 農地開拓部長より、38年度道開発予算要求の概要について説明を聴取の後、

清水委員(社)より、総洗い調査はどのように進んでいるか、この調査は要求予算に折り込んであるか資料によると土地改良関係が前年対比200%になっているのに開拓関係は135%となっている理由は何か、電気施設について1戸当り事業費9万円までは県の補助、超過分については県の追加補助とあるがこれの具体的内容、ビートについてはあまり伸びていないが農業構造改善事業の関連として予算を要求すべきと思うかどうか、

橋本(正)委員(社)より、圃場整備事業に対する道と開発局との関係及び考え方、総洗い調査との関連はどのようになっているか、

道下委員(社)より、国営土地改良事業の地元負担については検討の要がある、電気施設及び土地改良関係の予算要求が具体的にでないかどのようになっているか、補助率引き上げ関係の資料提出方

等について質疑、意見、要望並びに資料要求があり、農地開拓部長より答弁。

- ④ 農地開拓部長より、9号、10号台風農地開拓関係被害状況について説明を聴取の後、

橋本(正)委員(社)より、畜舎の被害は水害によるものか、または台風によるものか、農作物は9号台風より、10号台風で被害を蒙っているのではないか

山田委員(社)より、半壊と全壊の定義はどうか等について質疑があり、農地開拓部長より答弁。

農地開拓委員会

○8月13日 午後1時45分、第2委員室において開議、午後5時20分散会、委員長 西島順三(自民)

一般議事

- ① 奥野委員(自民)より、十勝岳爆発に伴う被害対策に関する中央折衝について、樋口委員(自民)より三石町及び大江村災害復旧工事現地調査の経過についてそれぞれ報告があり、

橋本(正)委員(社)より、今年度の自創資金の枠はどうか、今次の災害により資金枠を増枠しなくともよい

水産委員会

○8月2日 午後1時35分、第1委員室において開議、午後4時58分散会、委員長 西野吉一(自民)

請願、陳情の審査

請願

第625号 宗谷海域におけるソ連拿捕かにかご漁船の早期解放要望の件 (採択)

一般議事

- ① 委員長より、去る7月24日から31日まで8日間行な

つた留萌、稚内、網走、根室、釧路、渡島、後志の各支庁管内の水産状況の現地調査の経過について報告があり、沖野委員(自民)より補足報告、また水産部長より、稚内海域におけるかに籠漁船の拿捕問題について報告があり、異議なく報告を了承。

- ② 委員長より、中央折衝について諮り、麻里(自民)、川村(社)、坂下(社)、沖野(自民)の各委員より意見があつた後、中央折衝要望事項については上京委員に一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。
- ③ 水産部長より、厚賀沖における沈没船除去問題等について説明を聴取の後、川村委員(社)より、この陳情を取り下げた経緯はどうかについて質疑があり、水産課長補佐より答弁。
- ④ 水産製品課長より、ソ連産ニシン輸入状況について説明を聴取。
- ⑤ 水産部長より、北洋開発協会設立問題について説明を聴取。
- ⑥ 委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ、次回委員会の開会は委員長一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

○8月11日 午前11時17分、第2委員室において開議、午前11時58分散会、委員長 西野吉一(自民)

一般議事

- ① 委員長より、日ソ近海漁業の安全操業確立に関する中央折衝の経過について報告があり、異議なく報告を了承。
- ② 水産部長より、台風9号による水産関係被害状況について説明を聴取の後、大島(仁)委員(社)より、台風10号による被害調査はどうかについて質疑、漁政課長より答弁があつて本対策の取り扱いについては水害対策特別委員会にまかせることに決定。
- ③ 委員長より、次回委員会を8月20日に開催することについて諮り、異議なくそのことに決定。

○8月20日 午前11時20分、第1委員室において開議、午後1時7分散会、委員長 西野吉一(自民)

一般議事

- ① 水産部長より、台風9号10号による水産関係被害状況について説明を聴取の後、大島(仁)委員(社)より、水産資源の被害については調査をしているか、被害の明らかでないものについて道はどのように復旧対策を考えているか、沖野委員(自民)より、今次の災害で利礼のコンブ被害がぬけているが調査をしているのか、

窪田委員(社)より、9号10号台風被災漁家に対する税対策について道は国税局に対し手を打つ考えがあるか、

時田委員(社)より、水産資源被害額の内容はどうか、川村委員(社)より、水産資源の被害額が支庁の数字と違う理由及び支庁報告内容はどうか

等について質疑及び意見があり、水産部長、水産課長より答弁。

- ② 漁政課長より、沿岸漁業等振興法案に対する各府県の修正要望意見について説明を聴取の後、麻里委員(自民)より、29県から回答があるがあの県はどうか、

大島(仁)委員(社)より、29県のうち、青森県だけが足なみをそろえていないが、妥協するのかどうか、道から働きかける必要があると思うがどうか、自民党政調会では審議を進めているのか

等について質疑があり、漁政課長より答弁。

- ③ 委員長より、宗谷支庁長並びに稚内市長発信の「かにかご漁船乗組員の帰還に対する饗礼及び残留乗組員の早期釈放方について」の要望電文を披露した。

- ④ 沖野委員(自民)より、後志管内におけるスケソ操業問題については早急に措置をとつてもらいたい、釧路水産試験場の改築の問題及び稚内支場の調査船の問題並びに網走、紋別の水産試験場分場の支場昇格と改築に対する見解、根室の漁船員に対する保険法適用の問題はどうか

大島(仁)委員(社)より、水産試験場の予算編成に関連して、明年度から寄附行為等をやめるよう費目別に検討する考えはないか、道は漁港整備計画を強化する考えはあるのかどうか、

窪田委員(社)より、釧路水産試験場の改築問題に関し、道は国に対し改築方を要請すべきでないか、国が釧路水研支所を廃止する根拠及び道の態度はどうか

等について質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁政課長より答弁。

- ⑤ 委員長より、次回委員会の開会については委員長一任とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

文教林務委員会

○8月13日 午後2時10分、第2委員室において開議、午後4時42分散会、委員長 松尾三良(自民)

一般議事

- ① 千葉(大)委員(社)より、去る7月23日から26日まで5日間行なつた留萌、石狩、後志各支庁管内の文教林務関係施設の現地調査の経過並びに高校急増対策の財政措置に関する中央折衝の経過についてそれぞれ報告

の後、異議なく報告を了承。

- ② 林務部長より、天売、焼尻の道立自然公園指定、浜益村愛冠周辺を暑寒別道立自然公園に追加指定の問題等について教育長より、増毛町における町立阿分小学校の屋内運動場の改築工事、町立新信砂小学校のへき地教員住宅の新築問題及び高校急増対策問題等についてそれぞれ説明を聴取の後、

福島委員(自民)より、道立自然公園指定の問題で暑寒別が天売、焼尻より優先された理由は何かについて質疑、林務部長より答弁。

- ③ 台風9、10号による被害状況について教育長及び林務部長よりそれぞれ説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、昨年の水害に対する林務部の事後処理について資料を提出されたい、増毛町内学校の屋体の改築、へき地教員住宅の設置について計画書の提出されているものは決定済みかどうか、また危険校舎の実態を調査の上次回委員会で説明されたい、

福島委員(自民)より、教職員並びに生徒が災害の防止に実績を示した場合表彰しているか、

堀委員(社)より、水害による道内木材業者の救済対策はどうか

等について質疑及び資料要求があり、教育長、林務部長、施設課長より答弁。

- ④ 市町村立高校に対する財源措置について教育長、財務課長より説明を聴取の後、

千葉(大)委員(社)より、市町村立高校32校に対する配分額はいくらか

について質疑、財務課長より答弁。

- ⑤ 委員長より、先の委員会で決定した網走、釧路支庁管内の調査日程については、現地の都合により1日繰り上げて16日から22日までとする旨を述べ、異議なくこれを了承。

○8月11日 午後4時29分、第2委員室において開議、午後5時5分散会、委員長 松尾三良(自民)

一般議事

- ① 委員長より、先の委員会で決定した道内調査を予定どおり8月16日から実施することについて、諮り、異議なくそのことに決定。

- ② 福島委員(自民)より、今回の災害で治山の問題が浮び上っているがこれに対する部長の見解はどうか、

井野委員(社)より、災害の跡をみると国有林の乱伐による影響が大きい治山関係の行政機構、機能を再検討する必要はないか、

瀬委員(社)より、からまつの先枯れ病が年々増大しているがこれの防除対策とその見直し並びに今後の造林対策をどう考えるか

等について質疑、林務部長より答弁。

- ③ 次回委員会は8月31日及び9月1日の2日間開会することについて諮り、異議なくそのことに決定。

○8月31日 午後2時、第1委員室において開議、午後5時3分散会、委員長 松尾三良(自民)

開議に先立ち委員長より、参議院選挙にかかる選挙違反容疑で逮捕されたことについて一身上の弁明があつた後、千葉(大)委員(社)より、全道高校PTA連合会長の参議院選挙違反問題について質疑、教育長、社会教育課長より答弁。

一般議事

- ① 委員長(池田副委員長代行)より、議事の進め方について諮り、堀委員(社)より、開議前の千葉(大)委員の質疑を続行されたい、

井野委員(社)より、本問題に対する委員長、副委員長及び自民党の考え方はどうか

について質疑及び意見があり、午後3時5分休憩、午後5時2分再開の後直ちに散会。

- ② 本日聴取した陳情は次のとおり。

(1) 真駒内養護学校に高等部併置並びに学級増設について 同校PTA会長外22名

(2) 釧路市立北陽高校を昭和38年度に道立移管すること及び工業高等専門学校を釧路市に誘致することについて 釧路市教育委員会教育長外4名

(3) 町立妹背牛高校を昭和38年度に道立移管することについて 妹背牛町長

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○8月18日 午前11時53分、第1委員室において開議、午後2時26分散会、委員長 大島三郎(自民)

- ① 委員長より、黒部川第4発電所並びに愛知用水等先進地帯の産業事情調査の経過については配付の報告書をもって報告にかえたい旨を述べ、異議なくこれを了承。
- ② 企画部長より、昭和38年度開発予算の要求概要について、財政課長より、重点要望事項についてそれぞれ説明を聴取の後、
塚田委員(社)より、名寄士別両市の低開発地域指定に関連して地区指定に対する基本的考え方はどうか、38年度の生産目標ほどの位か、
等について質疑、企画部長より答弁。
- ③ 委員長より、8月20日開催の開発審議会にオブザーバーを派遣することについて諮り、異議なくそのことに決定、散会后協議の結果派遣委員に委員長及び阿部委員(自民)を決定。

○8月27日 午後2時、第1委員室において開議、午後3時9分散会、委員長 大島三郎(自民)

- ① 開議に先立ち開発局官房長、開発計画課長より、昭和38年度開発事業費予算要求概要についてそれぞれ説明を聴取した。
- ② 阿部委員(自民)より、去る8月20日開催の北海道開発審議会の会議経過について報告の後、異議なく報告を了承。
- ③ 企画部長より、先の委員会で保留になっていた38年度開発予算と第2期計画との関連について答弁の後、
川村委員(社)より、38年度予算と第2期計画との関連について資料を提出されたい、先行投資と生産効果の関係はどうか、
塚田委員(社)より、開発局より要求の明年度開発公共事業費491億と道の要求とはどういう関係があるか、国の計画が繰上げ施行の傾向にあるが第2期計画が修正される時期がくると考えられるがこの点どのように考えているか、公共事業費の集計はどの位か、
等について質疑、企画部長、財政課長より答弁。
- ④ 企画部長より、北海道離島振興計画について説明を聴取の後、
山下委員(社)より、金山ダム建設に伴う補償対策はどうなっているか、

高田委員(社)より、先に知事より発表された石狩川治水対策としての太平洋放水路建設について何か裏付けになる計画でもしているか、

について質疑、企画部長より答弁。

- ⑤ 次回委員会の開催期日は委員長一任と決定。



全国都道府県議会議長会

○8月17日 都道府県会館において臨時会を開催、会長より本臨時会開催の主旨を述べた後、新任正副議長を紹介、次いで篠田自治大臣並びに藤田自治政務次官よりそれぞれあいさつがあつた後、会長建部東京都議長を本臨時会の議長に選任、まず「国、都道府県、市町村間の行政事務の配分と経費の負担区分についての主要検討事項」について地方制度調査委員会のとりまとめた意見の会長緊急措置を承認した。ついで次の事項について協議し、いずれも原案のとおり決定、関係方面に要望することとした。

なお、本臨時会に先だち午前中正副会長会及び幹事会を開いた。

- 1 第41回臨時国会に対する要望事項
 - (1) 地方公務員共済組合関係法案の早期成立について
 - (2) 激甚災害特例法案の早期成立について
- 2 第3次池田内閣に対する重要施策の要望事項
 - (1) 高等学校生徒急増対策について
 - (2) 道路整備5カ年計画規模の大幅改定について
 - (3) 治水砂防事業の拡大と事業の促進について
 - (4) 農業構造改善事業の推進について
 - (5) 後進地域振興と地域格差是正対策の確立について
 - (6) 農産物の流通対策の改善について
 - (7) 国庫補助負担金算定基準の引上げ措置について
 - (8) 公立文教施設の整備について
 - (9) へき地住民の福祉向上施策の強化について
 - (10) 観光事業の振興施策について

産炭地振興全国道県議会協議会

○8月2、3の両日東京都において開催、次の事項を協議決定し、関係方面に要望することとした。

- 1 産炭地域振興について
- 2 産炭地域振興事業団の業務運営について

雪害対策促進関係道県議会議長会

○8月13日 都道府県会館において総会を開催、本会のあ

り方について協議の結果、本会の目的は一応達成せられ、また同日午後新たに雪害地帯対策協議会が設立されることになったので、本会は解散することに決定した。

雪害地帯対策協議会

○8月13日 都道府県会館において設立総会を開催、会長に塚田新潟県知事を選任、ついで来賓祝辞、祝電披露があつた後議事に入り、本会の規約、役員、事業計画等を決定した。

全国酪農経営安定対策連絡協議会

○8月21日 岩手県において総会を開催、昭和36年度事業経過報告があつた後、次の事項について協議した。

なお、中央に対する要望事項については、重点的に整理する必要があるので、9月上旬正副会長会議を開き検討することとした。

- 1 昭和36年度収支決算の承認について
- 2 昭和37年度事業計画について
- 3 昭和37年度収支予算について
- 4 昭和37年度経費の賦課及び徴収方法について
- 5 役員改選について
- 6 各都道府県提出議題について

10都道府県議会議長会

○8月27日 本道において開催、まず兵庫県議長より前回会議における決定事項の処理について報告があつた後、次の事項を協議決定し関係方面に強く要望することとした。

- 1 麻薬対策の強化について
- 2 北方領土問題の解決促進について
- 3 中小企業金融対策の強化について
- 4 宅地開発事業の強化促進について
- 5 学校給食の普及充実について

都道府県議会議員互助会

○8月17日 東京都において代議員会を開催、徳島県議長伊東薫氏を監事に選任した。

10都道府県議会事務協議会



○8月7.8の両日大阪府において開催、次の事項について協議研究した。

- 1 委員会の閉会中の総統審査又は調査に関する案件の取扱いについて
- 2 代理投票補助者の選任行為に対する投票立会人の意見について
- 3 補欠当選議員の委員選任前の委員会活動について
- 4 常任委員会会議録原本の議員による任意修正と信頼性の保持等について
- 5 各派代表者会議、役員選考委員会等規程の存しない慣行上の重要会議の記録作成責任について
- 6 議会における資料要求の取扱いについて
- 7 懲罰事犯と訴訟について

北海道・東北6県事務連絡協議会

○8月7日 岩手県において開催、次の事項について研究協議した後、国立国会図書館廿日出連絡部長より「議会図書室、運営の諸問題」についてと題する講演を聴取した。

- 1 予算審査に関係ある各道県共通の資料の定期作成と交換について
- 2 図書資料整理要領について
- 3 調査課における資料要求の取扱いについて
- 4 議会事務局における調査業務施行要領について
- 5 専門図書館、協議会地方自治分科会の運営について
- 6 議会図書室関係職員の図書業務基礎研修会について
- 7 全国都道府県議会議長会事務局の調査業務機構の拡充強化について

第2回定例道議会の議決 を経た条例の公布調べ

件名	議決月日	公布月日 公布番号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	7.18	7.26 条例第37
北海道職員採用競争試験受験手数料条例の一部を改正する条例	7.19	7.26 条例第38
北海道立衛生研究所条例の一部を改正する条例	同	7.26 条例第39
北海道立病院及び診療所使用料並びに手数料条例の一部を改正する条例	同	7.26 条例第40
北海道立診療所条例の一部を改正する条例	同	7.26 条例第41
北海道営放牧利用模範施設条例の一部を改正する条例	同	7.26 条例第42
北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例	同	7.26 条例第43
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	7.18	7.26 条例第44
かきの処理等に関する衛生条例	7.19	7.26 条例第45
北海道立ユース・ホステル条例	同	7.26 条例第46
保健所設置条例等の一部を改正する条例	報告	5.1 条例第36

8月のメモ

- 1 ○プーマラオス首相来日。
○第8回原水禁世界大会開く(東京)。
○札幌中央卸売市場、標準小売価格の発表を始める。
- 2 ○門司入港の御影丸船員に真性コレラ発生(患者3人)。
- 3 ○水産庁、カツオマグロ漁業許可割り当てを決める(本道分は12隻)。
○台風9号本道襲来豪雨災害発生浸水家屋8,000戸、田畑冠水3,700ヘクタール。
- 4 ○第41臨時国会開く。
○道、台風9号による災害に対し災害対策本部を設置。
○道、台風9号による災害で31市町村に災害救助法を発動。
- 6 ○参議院正副議長決まる、議長重宗雄三(自民)、副議長重政庸徳(自民)。
○道農業会議、労働力流出で豊相に対する中間答申案をまとめる、体質改善が先決、機械化の促進を図る。
- 9 ○台風10号本道襲来、道南、西部に被害、北松山で避難命令。
○日本、パキスタン合同登山隊サルトル、カンリ(7,742m)を征服。
- 10 ○参院、常任、特別委員長を決定、エネルギー対策閣未治氏。
○企画庁、本年度経済見通しを改定、成長率は4.5%(実質)(当初5.4%)。
○人事院、公務員給改定を勧告、平均7.9%アップ。
○道教育庁、市町村立高校に対する急増対策整備費の配分を決める、総額3億5,000万円。
○道、辺地整備資金第1次事業別配分決まる事業費、国費5億8,000万円、道費2億6,000万円。
- 11 ○ソ連人間衛生ウオストーク号打ち上げ(乗員ニコラエフ少佐)。
○第2回臨時道議会開く。
○道議会、水害対策特別委員会を設置、委員長に松平武一(自民)を選出。
○憲法調査会札幌市で公聴会を開く、山田良秀氏道(経営者協会顧問)ら9氏の意見を聞く。
- 12 ○ソ連人間衛生ウオスタータ4号を打ち上げる、(乗員ボボビッチ中佐)3号と宇宙間通信に成功。
- 13 ○道開発庁、道側幹部連絡会議、明年度開発予算要求方針をきめる、道路、港湾を中心、治水対策石狩川水系中心。
- 14 ○自治省、災害対策を示す、赤字債発行を認める、地方交付税11月交付分は9月3日に繰り上げ交付。
○道、36年度道内農業基本調査をまとめる、専業56%、乳牛は20万頭を突破。
○道、ことし上半期の道内消費物価の動きをまとめる、前年同期より5.6%上昇、上昇率大きい被服、食料。
- 15 ○ウオストーク3.4号無事着陸、3号64周94時間25分、4号48周70時間59分。
- 16 ○インドネシア、オランダ、西イリアイ協定に正式調印、西イリアン明年5月にインドネシア移管。
○日英通商航海条約妥結。
○地方開発産業審議会、低開発工業地区71カ所を正式指定、本道は名寄、士別地区。
- 18 ○行管庁、共管競合行政の実態調査結果をまとめる、強すぎる権限意識、勧告9件。
○道、明年度開発補助事業の要求額をまとめる、総額462億円。
○道教委、高校学力テスト指定校を決める、札幌南校(定時)など31校。
- 20 ○自治省、37年度普通交付税団体別配分額を決定、総額4,304億円、本道は390億円(内道分247億8,000万円)。
○道開発審議会総会、開発予算要求要領を了承、道路治水に重点、社会資本の充実をはかる。
○道台風9.10号被害状況を発表、総額419億円、農地は2,150ヘクタール。
- 21 ○訪ソ経済使節団、大口商談をまとめる。1億ドルの船舶輸出、パルプ材輸入長期協定も。
○道てん菜振興立法化対策協議会発足、会長に高橋北農中央会長。
- 22 ○社会保障制度審議会、社会保障制度の総合調整及び今後10年間の社会保障制度推進の方策について答申、10年間で先進国並みへ、生活保護水準は3倍に。
- 23 ○産投法案衆院を通過。
○自治省、38年度地方行財政の重点施策をまとめる、事業団設け地域開発。
○道農務部、台風による農業災害をまとめる、総額は154億、31年の冷害につぐ。
- 24 ○道地方課、36年度全道市町村普通会計決算状況をまとめる、約5億円の黒字、健全財政をとりもどす。
○伊豆諸島三宅島で火山大爆発。
- 25 ○道地方課、36年度道内市町村の公営企業決算状況をまとめる、8億5,000万円の赤字。
- 27 ○米、金星ロケット(マリナー2号)を打ち上げ。
○道、行政簡素化で臨時行政調査会に要望書を提出、国の監督縮小を、多すぎる各省共管事務。
○道稚島振興新8カ年計画を作成、総事業費126億円。
- 28 ○総評大会終わる、社会党を支持、太田議長岩井事務局長を再選。
○道総合開発委員長に杉野目氏を再選。

- 29 ○農林省、本年度の農業構造改善事業一般地区を指定、
江別、早来など 300地区。
- 30 ○農林省、36年度農業産出額を公表、前年比11.7%増
加、1兆9,887億円。
○初の国産ジェット旅客機YS-11テスト成功。
- 31 ○開発庁、33年度道開発予算要求額をまとめる、総額
849億4,676万円、本年に比べ49.7%の増。
○農林省、本年産水陸稲の第1回予想収穫量を公表、
1,276万4,000トン史上第2の豊作。
○激甚災害特別財政援助法成立。
○道農務部、8月20日現在の道内農作物作況を公表、
水稲、麦やや不良、全般に平年作を下回る。

昭和37年9月20日発行

北海道議会時報 (第14巻
第9号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局